

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成30年1月作成

## 指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

### 1 絵本の充実と整備

施策・方針	ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができ環境の整備を行います。 イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。
平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所4施設・公立幼稚園2施設では、限られた財源の中で図書購入費の確保に努めました。</li> <li>・各施設では、絵本の表紙が見えるように置くなど、絵本への関心を高めるための環境作りについて工夫しました。また、各年齢の発達に合った内容や季節を意識した絵本を選び、各部屋に絵本コーナーを配置しています。</li> <li>・団体貸し出しの利用園が昨年度に比べ3施設増え、6施設が利用しています。</li> </ul>
平成30年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き公立保育所・幼稚園の図書購入費の確保を行い、身近に絵本に触れ合える環境整備を進めます。</li> <li>・絵本との出会いを大切に、絵本を題材にした出し物を運動会や生活発表会などの行事で取り入れ、子どもたちが絵本の世界のイメージを広げる楽しさを感じられるような取組を積極的に行います。</li> <li>・図書館の児童サービス担当司書との連携を図り、団体貸出や移動図書館を効果的に活用します。</li> </ul>

### 2 読書活動推進のための取組

施策・方針	ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。 イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。 ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。
平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内や市内で開催される絵本に関する研修会や講演会の案内を保育所〔園〕、幼稚園、認定こども園に行い、積極的に参加を呼びかけました。</li> <li>・職員や保護者向けの研修を実施した施設は17施設のうち6施設です。</li> <li>・本年度はマイ保育ステーションが2施設から3施設に増え、在宅家庭に対し絵本の読み聞かせなどを推進する機会が増えています。</li> <li>・ブックスタート事業への参加親子数は12月末時点で事業対象家庭421家庭中291家庭でした。</li> <li>・親子読書の推進を図るために、園だよりを利用し絵本の紹介を行った施設は昨年同様12施設ですが、クラス懇談会での絵本の紹介を行った施設は3施設増えて15施設です。</li> <li>・「子ども読書の日」について、ポスターの掲示やお便りでの啓発を行った施設が8施設と、昨年度より2施設増えています。</li> <li>・ボランティアを活用している施設は6施設です。</li> </ul>
平成30年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域で子育て支援に関わる子育て支援員に、絵本に関連した研修を年1回以上実施し、親子読書の推進を図ります。</li> <li>・各施設で、親子絵本の読み聞かせや絵本紹介など「子ども読書の日」に関連した取組を行い、保護者が子どもの読書の大切さを考える機会となるよう働きかけます。</li> <li>・絵本の読み聞かせ以外にも絵本の整備にかかわるボランティアの導入について検討していきます。</li> </ul>



# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査書

平成30年1月作成

## 指針2：小・中学校における読書活動の推進

### 1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	<p>ア 国の平成24年（2012年）度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを旨とし、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。</p>
-------	--

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、50%未満が1校（45.4%）、50～75%未満が14校、75～100%未満が4校、100%達成が1校（100.4%）でした。（平成29年度読書活動取組状況調査〔5月1日付〕）。三重県平均レベルには足りませんが、古くなった書籍を廃棄しながらも、分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めることで、平成28年度と比較すると、市内19校のうち16校は学校図書館図書標準が向上しています。</li> <li>・「学校図書館教育充実事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるよう、季節やテーマに応じた本を提示する等、さらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実しています。</li> <li>・授業等で多くの資料が必要な場合、学校間で貸出利用ができるよう常に学校司書間で情報交換をしました。</li> <li>・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を推進しました。</li> </ul>
----------------	--

平成30年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の実情に応じた図書館資料の整備において、授業の中で必要とする資料等、学校司書の助言を受けながら蔵書比率を考慮し計画的に購入を進めます。</li> <li>・ふるさと学習「なばり学」を促進するため、名張の地域教材等、多種多様な形態の資料収集を推進します。</li> <li>・市立図書館等と協働し、団体貸出等を利用することで、授業の発展教材や調べ学習の資料等、子どもや学校のニーズに応える図書の整備を推進します。</li> </ul>
------------------	---

### 2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。</p> <p>イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。</p> <p>ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。</p> <p>エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。</p>
-------	--

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書が、学校図書館教育充実事業モデル校3校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組（子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活性化等）を行いました。</li> <li>・学校図書館ボランティアについては、市の広報や各校から地域に呼びかける等により増員を図りましたが、平成28年度より12人減少しました。しかし、市全体で現在135人の方が登録されており、読み聞かせ等、各校で活動いただいています。</li> <li>・6月と9月に、学校図書館ボランティア・学校司書・司書教諭等を対象にした合同研修会を2回開催し、6月の研修会には54人、9月の研修会には30人の参加がありました。また、7月には、ボランティア研修会を実施し、取組の交流をすることができました。</li> </ul>
----------------	--

平成30年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校司書を配置することで、担任とともに授業を行うこと等、子どもの読書活動を推進します。</li> <li>・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアの資質向上を目指し、市立図書館と連携し研修会を年間2回以上は実施します。</li> <li>・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設けます。</li> </ul>
------------------	---

### 3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会発信します。</p> <p>ウ <sup>ウチドク</sup>家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>平成29年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を明記した各学校の年間指導計画を作成した学校は、昨年度は2校でしたが、本年度は8校に増えました。</li> <li>・委員会活動等をさらに活性化することで、児童生徒が学校図書館にさらに興味関心を深め、誰もが利用しやすい環境を作ることで、貸出密度の向上に努めました。その結果、貸出密度は、小学校では、2.4冊、中学校では、0.4冊増加しました。平成28年度貸出密度 小学校23.8冊 中学校1.2冊〔学校図書館の現状に関する調査 平成29年5月1日付〕)</li> <li>・書籍購入におけるリクエスト制度の確立に努めました。</li> <li>・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としょだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めました。</li> <li>・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回実施しました。</li> </ul>
<p>平成30年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な読書活動を各教科等の指導計画に位置づけ、調べ学習等における学校図書館の活用を推進します。</li> <li>・ブックトーク等を活用することなど、授業において読書の幅を広げる工夫に取り組むことや委員会活動等をさらに活性化すること、市立図書館等と協働し、図書館職員による学校訪問等を利用することで、子どもたちの読書への興味関心を高め、貸出密度の向上を図ります。</li> <li>・学校図書館ボランティア等と協力し、読み聞かせや環境整備、図書館資料の整備等に取り組み、学校図書館を地域に開放する等、コミュニティ・スクールと連動させた学校図書館の充実を推進します。</li> <li>・「学校だより」や「としょだより」等により、ファミリー読書（家読（うちどく））を保護者等へ周知し、家庭における読書活動を積極的に推進します。</li> </ul>



# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成30年1月作成

## 指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

### 1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どもたちのための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

平成29年度 実施状況	<p>・市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けることを念頭に置きながら、児童書の購入と更新に努めています。12月末現在の全体の受入冊数は4,590冊で、児童書の受入冊数は885冊でした。</p>
----------------	---

平成30年度 重点取組事業	<p>・学校図書館等への団体貸出に対応するため、調べ学習等に配慮した児童書の収集を行います。</p> <p>・長く読み継がれて傷みが激しくなった児童書を更新します。</p> <p>・上記の取組が可能な財源の確保について、情報収集に努めます。</p>
------------------	--

### 2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。</p>
-------	---

平成29年度 実施状況	<p>・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行っています。(情報提供件数：6件)</p> <p>・教育センターと協働して、図書館ボランティア研修講座(『子どもたちと絵本の扉を開く』正置友子さん、『学校図書館におけるピブリオバトルの活用』岡野裕行さん)を実施しました。</p> <p>児童サービス担当司書を中心にして、児童への図書館サービスの充実に努めています。</p>
----------------	---

平成30年度 重点取組事業	<p>・児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書を継続して配置します。</p> <p>・職員やボランティアの児童サービスへの技術力の向上につながる研修等を、教育センターと協働して実施(年3回)します。</p>
------------------	---

### 3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

<p>施策・方針</p>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
<p>平成29年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所〔園〕・幼稚園の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ8回)</li> <li>・おはなし会等を実施しました。(延べ60回、627人参加)</li> <li>・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月22日開催：37人参加)</li> <li>・図書館まつりを開催し、おはなし会を実施しました。(7月29日開催：44人参加)</li> <li>・第10回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数：897点)</li> <li>・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで、本の帯コンクール入賞作品を展示しました。</li> <li>・ブックスタートを実施しました。(事業の説明、読み聞かせ：264人参加)</li> <li>・保育所〔園〕への団体貸出(貸出冊数：1,591冊)及び保育所〔園〕への移動図書館の巡回を実施しました。(巡回園数：7施設)</li> <li>・子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。(テーマ数：14テーマ、延べ展示冊数：1,668冊、延べ貸出冊数2,663冊)</li> <li>(平成29年12月末現在)</li> </ul>
<p>平成30年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが興味を持ち参加したくなる催し物等を開催することで、子どもの読書活動を積極的・計画的に推進します。</li> <li>・児童サービス担当司書が中心となり、いつでも子どもからの質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。</li> <li>・保育所〔園〕及び認定こども園・幼稚園等の団体貸出については、制度の周知に努め、利用を促進します。</li> </ul>

### 4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ MILAIに参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、MILAIに参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
<p>平成29年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学(小学校5校)、職場体験(中学校5校)、高校(2校)を受け入れました。</li> <li>・小学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。</li> <li>・小学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数：延べ28回)</li> <li>・小学校への団体貸出を実施し、1,405冊を貸出しました。</li> <li>・県立高等学校への団体貸出を実施し、156冊を貸出しました。</li> <li>・市内小学校14校のうち6校に移動図書館の巡回を行いました。</li> <li>(平成29年12月末現在)</li> </ul>
<p>平成30年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の司書教諭等や学校司書及び県立高等学校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援を推進します。</li> <li>・子どもの施設見学や職場体験を積極的に受け入れます。</li> <li>・学校に向かいてのブックトークや読み聞かせ等を行う学校図書館支援の実施に際しては、事前に学校と連絡を取り内容を充実させます。</li> </ul>



平成29年度 第2回 第二次名張市子ども読書活動推進計画評議委員会が出された主な意見

平成30年1月作成

1 指針1:家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

- ・公立幼稚園では、「親子貸し出し」を行っており、楽しみにしている保護者が多く、クラス懇談会で絵本の紹介を行っているが興味をもって話を聞いてくれている。この保護者がリーダーとなって学校などでも推進してもらえたらと思う。名張幼稚園は、市の指定研修を受けているが、テーマが「ことば」ということで、絵本購入を行い図書の実を充実を図った。
- ・赤目保育所では、ボランティアによる読み聞かせを行っている。また、絵本の貸し出しも行っているが、忙しい家庭も多く、家庭での読み聞かせの状況は把握しにくいところがある。クラス懇談会で、「親子読書」や「子ども読書の日」について発信していきたい。
- ・図書館の団体貸し出しカードは、施設に1枚のため利用しづらい。

2 指針2:小・中学校における読書活動の推進について

- ・学校図書館に新刊が入ると子どもたちは興味関心をもって借りている現状がある。小学校の1・2年生でどれだけ興味関心をもって読書ができたかによって、読書に対する興味関心は変わる。貸出密度の向上につながるのではないか。
- ・県からのパンフレットでは、家読を意識して取り組んでいる学校は、読書量が多い。今後も引き続き家読の啓発をしていただきたい。

3 指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進について

- ・実施状況の統計数値は、過去との比較ができた方がよい。
- ・資料購入費予算額を載せる意味が分からない。
- ・予算の確保でなく、財源を確保する事が重要である。